



今年は何ともしお暑い夏でした。皆様方には如何お過ごしですか。お伺い申し上げます。ようやく猛暑から解放されて日も短くなる。十一月は二十二日が満月の予定ですね。お釈迦様が娑羅双樹の下で涅槃に入られた際の夜も満月が登っていたとそう。今宵見る月、と同じ星を何年も昔の人も見ていたんですね。

満月の宵に思うこと



発行
成相山成相寺

京都府京都市宇治市成相寺339
TEL.0772-27-0018
<http://www.nariai.jp/>

ストが天界から降りて休職を過ごすために東京のアパートで共同生活をする……という奇想天外な漫画です。結構若い人達に人気らしく、売れているそうです。「最近の若いやうらは神も仏も……」なんて少イラツつしながら読むと、結構面白いのです。驚きました。ブツでもキリストも携帯やコンピューターを使いこなす最近のお見さん風に描かれてますが、要所要所はある意味正しく、今風にブツの足跡を解釈するところ、なるんだ、と改めて教えられました。若い子達がこの漫画でブツと初めて出会った興味を持って行くと行く行くはご先祖様を大切に思う敬虔な仏教徒に育っていく……と期待するのには大きな間違いなのでしょう。しかしながら手塚治虫さんの「ブツ」もそうですが漫画というのはいかに生活の中に浸透して、色んな世代に色んな世界を見せてくれるのです。

最近、家に仏壇が祀られていて毎朝御灯明を上げ御供えをするという家庭がどんどん減ってきています。身近に仏様が少なくなっています。この間も団塊の世代と思われる方から「御供えのシステムはどのようにしたら……」とお尋ねがあり、返答に困りました。システム……新しい表現です。きつと、「お布施はどのように……」と、仰りたかったんだろうと思います。しかしながらお布施というのは代価ではなく、慈悲の心をもって他人に財物などを施すという事で、この解釈の違いが最近の葬祭業者との軋轢を生んでいる原因なのかもしれません。多ければ良いという物でもない、無くて良いものでもない。身の丈に合った物でよい。と、私は考えます。

まさに新しい時代への転換期なのだと思います。子供の頃から仏様に手を合わせご先祖様に感謝すると言う、習慣を持たない方が少なくなっていく世の中で、いかに仏様を理解して頂きご先祖様を大切に思って頂くかを伝えるのがご先祖様になるのだと実感して頂かないといけません。

西国の観音堂は「現世利益」を求めてお参りになる方が多いです。つまり、生きている内に観音様のお慈悲を受け幸せになりたい、と言った事です。これは、大変解りやすいと思います。ここにも仏教への入門の糸口があるかと思われ。とりあえずお寺で手を合わせる事から始めましょうか。そして今の自分を思い返して何が足りないかを考え、御利益をお願いしてみよう。次に般若心経を唱えてみる。そして、ご先祖様に感謝する。生きていくことに感謝する。つぎは……と続いていきます。そこに、続いて行っているようにするという我々の仕事があります。

漫画に始まって、観光目的のお寺参りでも良いと思います。仏様とのご縁結びです。

皆様様方と仏様との良いご縁結びが叶います様、これからお手伝いさせていただきます。



